

問題【英語】

次の(1)～(5)の英文で、()に入る最も適切な単語を、次の【語群】からそれぞれ選んでください。ただし、【語群】の中の単語はすべて一度ずつしか使えません。

- (1) Tom likes running () I don't like it.
- (2) John was cooking dinner () I visited him.
- (3) I know () Kota is good at mathematics.
- (4) This is the pen () I bought yesterday.
- (5) I asked Tom () he loved.

【語群】 and but if that when which who

豆知識
雑学コラム

二つの文のつなげ方

今回取り上げた内容は接続詞・関係詞・疑問詞です。この三つは、「二つの文をつなげて一つにする」という働きをする点が共通していますが、文のつなげ方に違いがあります。今日はその違いを掘り下げてみましょう。下の表を見てください。

種類	はたらき	単語の例
等位接続詞	対等なもの(語句と語句・文と文)をつなぐ	and, but, or, so
従属接続詞	名詞のカタマリ(名詞節)を作る	that, whether
	副詞のカタマリ(副詞節)を作る	because, if, since, when
関係詞	名詞を修飾する形容詞のカタマリ(形容詞節)を作る	that, which, who, when
疑問詞	名詞のカタマリ(名詞節)を作る (後ろは<主語+動詞>)	how, what, when, who, why

表で挙げたように、接続詞には二つ以上のものを対等につなぐ等位接続詞と、一方の文を名詞節や副詞節にしてもう一方の文に取り込む従属接続詞の2種類があります。中学校で習う単語の範囲では、and・but・or・soの4種類が等位接続詞(soは文と文のみをつなぐ)で、残りの接続詞がすべて従属接続詞です。そして、従属接続詞の中ではthatのみが名詞節を、thatを含むすべての従属接続詞が副詞節を作ります(thatが副詞節を作るのは、前に<so+形容詞/副詞>があるときだけ)。

関係詞は前にある名詞を修飾する形容詞節を作ります。関係詞は中学校の範囲ではthat・which・whoの三つだけです。使い分けは、修飾される名詞(先行詞)が「人」ならwho、「人以外」ならwhichとなります。thatはどちらにも使える万能選手です。ただし、高校範囲になると関係詞の種類が増え、先行詞だけ見ていると間違えてしまいます。

疑問詞は後ろが通常の文の語順になって名詞節を作りますが、この名詞節は「間接疑問文」と呼ばれます。

関係詞や間接疑問文を習ったら、中学校の文法がついに終わる、ということです。高校入試に向けてこれまでの復習もしていきましょう! そのときに、今までやったことの「似ているところ」「違うところ」に注目すると、様々な事項が関連付けられて忘れにくくなります。

【解答】 (1) but (2) when (3) that (4) which (5) who